

## 会 議 議 事 録

1 会議名	令和8年度 第1回社会教育委員会、公民館運営審議会
2 開催日時	令和8年5月25日（月）午後3時～午後5時15分
3 開催場所	長岡市中央公民館 大ホール
4 出席者	<p>&lt;社会教育委員兼公民館運営審議会委員&gt;</p> <p>野田委員、小方委員、加勢委員、黒崎委員、八子委員、安藤委員、西片委員、富永委員、伊原委員、長部委員、大森委員、大竹委員、小川委員、大淵委員、山崎委員、山田委員、秋田委員、五十嵐委員、牧口委員</p> <p>&lt;市関係者及び事務局職員&gt;</p> <p>小池市民協働推進部長、嶋谷中央公民館長、菅係長、高田主事</p>
5 欠席者	若月委員
6 会議内容	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 オリエンテーション</p> <p>「長岡市の公民館と社会教育について」</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 正副委員長の選出及び研修委員長の選任について</p> <p>(2) 令和8年度長岡市社会教育の基本方針及び各担当課の事業紹介について</p> <p>(3) 長岡市社会教育委員会の活動及び自主研修の進め方について</p> <p>6 その他</p>
7 議題の審議結果	<p>(1) 委員の互選により、委員長は大淵委員、副委員長は小方委員、山崎委員に決定。研修委員長は大淵委員長の推薦により黒崎委員に決定。</p> <p>(2) 資料1～3に基づき、事務局より社会教育の基本方針、各事業紹介及び社会教育関係団体の補助金を説明。</p> <p>(3) 資料4に基づき、黒崎研修委員長より今年度の自主研修の進め方を説明。</p>
8 議題の審議内容	
委員	<u>議題(2)について</u> 事業一覧のうち、越路文化協会の補助金が前年度交付額に比べて増加している理由は何か。
事務局	確認のうえ後日回答する。

委員	事業一覧を見ると、まちなかキャンパス大学院の記載が見当たらないように思われる。従来は空き家問題やメタバースなどをテーマに実施されていたが、本年度の実施状況はどうなっているのか。
事務局	事業内容と掲載状況を確認し後日回答する。
委員	社会教育関連事業への参加方法について、事務局から案内があるのか。
事務局	基本的には各委員が自主的に申込み・参加する方式である。この資料には掲載していない事業もイベント集約サイトで最新情報を確認できるため、活用し参加いただきたい。一部事業については案内する場合もある。
委員	<u>議題（3）について</u> 講演会は一般市民も対象とするのか。
研修委員長	現時点では未定であり、今後対象や規模を検討する。必要に応じて幅広い参加も想定する。
委員	講演会の運営に委員が関わることは可能か。
研修委員長	委員主体での企画・運営が望ましいと考えており、準備・実施とも関わっていただく方向で進める。
委員	講演会については、単に聴講するだけでなく、企画や運営に主体的に関わることにより、社会教育の実践的理解が深まると考える。そのため、委員が主催側として関与する形を望む。
研修委員長	意見を踏まえ、委員主体の運営体制を検討する。
委員長	<u>その他（全体を通して）</u> 今後の公民館のあり方については、本日のオリエンテーションで実施した施設見学のような取り組みも交えながら、2年程度を目安に自由な意見交換を行っていく。
委員	公民館事業の現状把握の観点から、地域学びコーディネーター講座の見学等を行うことは重要であると考えている。昨年度および今年度のカリキュラムを共有してほしい。
事務局	<u>承知した。</u>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>「中央公民館の今後のあり方について検討する」との説明であったが、議論の対象は地区館も含めるのか、中央公民館のみに限定されるのか。</p> <p>越路公民館まで対象を広げると議論が拡散するため、本件では中央公民館に特化して検討してほしい。なお、越路公民館のコミュニティセンター化については別途議論が進められている。</p>
<p>9 会議資料                      別添のとおり</p>	
<p><b>【後日回答一覧】</b>   （※令和8年6月1日回答）</p> <p>1 越路文化協会の補助金の増加理由について</p> <p>令和8年度の予算は、令和7年度秋時点において、令和6年度の実績を基に算定する。令和6年度の実績額246千円を踏まえ、令和8年度は240千円とした。</p> <p>なお、令和7年度は予算額246千円に対し、実績額は226千円となっている。</p> <p>2 今年度のまちなかキャンパス大学院の実施状況について</p> <p>令和8年度については、まちなか大学院を一時休止することとした。</p> <p>これは、事務室のミライエ長岡への移転およびそれに伴う臨時休館が開催時期と重なり、日程や会場の確保が困難であるためである。</p> <p>なお、現在、時代の変化に対応した受講しやすい講座とするための見直しを進めており、令和9年度の再開に向けて準備を行っている。</p>	